

## Q001 基礎 | 4択 | 基礎

## 問題

次のうち、医療的ケアの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 清潔・不潔の区別、使用期限、破損、保管状態を確認すること。
- B. 医療的ケア時に誤嚥や苦痛を防ぐため、体位を整えること。
- C. 介護福祉士等が一定の条件のもとで行う喀痰吸引や経管栄養などの行為。
- D. 医療的ケアの実施前後や異常時に、看護職と情報共有し安全を確保すること。

## 答え・解説

正答：C. 介護福祉士等が一定の条件のもとで行う喀痰吸引や経管栄養などの行為。

超簡単な解説：医療的ケアは、介護福祉士等が一定の条件のもとで行う喀痰吸引や経管栄養などの行為。

## Q002 喀痰吸引 | 4択 | 標準

## 問題

一人暮らしの利用者で、喀痰吸引を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 実施前後の呼吸状態や顔色を観察し、異常時は中止して報告する。
- B. 医師の指示、研修修了、登録事業者の体制などを確認して実施する。
- C. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- D. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

## 答え・解説

正答：A. 実施前後の呼吸状態や顔色を観察し、異常時は中止して報告する。

超簡単な解説：喀痰吸引では、実施前後の呼吸状態や顔色を観察し、異常時は中止して報告する。この対応が適切である。

## Q003 経管栄養 | 4択 | 標準

## 問題

介護実践で経管栄養を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 介護職単独の判断で医療行為の内容を変更できないため。
- B. 誤注入や体調悪化を防ぐため確認が不可欠だから。
- C. 次回実施や多職種連携の根拠になるため。
- D. 本人が不安を訴えても、支援計画を変更してはならないため。

## 答え・解説

正答：B. 誤注入や体調悪化を防ぐため確認が不可欠だから。

超簡単な解説：経管栄養を重視する理由は、誤注入や体調悪化を防ぐため確認が不可欠だから。

## Q004 制度 | 4択 | 応用

## 問題

Dさんは医師の指示に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人の訴えを受け止め、指示内容と実施範囲を確認し、自己判断で変更しない。
- B. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- C. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- D. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。

## 答え・解説

正答：A. 本人の訴えを受け止め、指示内容と実施範囲を確認し、自己判断で変更しない。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、医師の指示の観点から本人中心に対応する。

## Q005 連携 | 4択 | 標準

## 問題

看護職との連携の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 痰の性状や呼吸状態の変化を具体的に看護職へ報告する。

## 答え・解説

正答：B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：看護職との連携では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q006 感染予防 | 4択 | 標準

問題

標準予防策に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- B. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。

答え・解説

正答：A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q007 感染予防 | 4択 | 基礎

問題

手指衛生に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- B. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- D. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。

答え・解説

正答：C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q008 感染予防 | 4択 | 応用

問題

個人防護具を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- B. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- C. 計画は職員の作業分だけを書き、本人の目標は含めない。
- D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

答え・解説

正答：D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q009 安全 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、観察項目の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 医療的ケア時に確認する呼吸、顔色、意識、苦痛、チューブ状態などの情報。
- B. 医療的ケアの実施前後や異常時に、看護職と情報共有し安全を確保すること。
- C. 手洗いや手指消毒により病原体の伝播を防ぐ基本的対策。
- D. 異常を認めた際に中止、応援要請、報告、救急対応などを行うこと。

答え・解説

正答：A. 医療的ケア時に確認する呼吸、顔色、意識、苦痛、チューブ状態などの情報。

超簡単な解説：観察項目は、医療的ケア時に確認する呼吸、顔色、意識、苦痛、チューブ状態などの情報。

Q010 安全 | 4択 | 標準

問題

認知機能に不安がある利用者で、緊急時対応を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 姿勢に不安がある場合は自己判断せず看護職に確認する。
- B. 呼吸苦や顔色不良があれば実施を続けず、すぐ応援を呼ぶ。
- C. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- D. 実施前後の呼吸状態や顔色を観察し、異常時は中止して報告する。

答え・解説

正答：B. 呼吸苦や顔色不良があれば実施を続けず、すぐ応援を呼ぶ。

超簡単な解説：緊急時対応では、呼吸苦や顔色不良があれば実施を続けず、すぐ応援を呼ぶ。この対応が適切である。

## Q011 安全 | 4択 | 標準

## 問題

介護実践で記録の重要性を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 誤注入や体調悪化を防ぐため確認が不可欠だから。
- B. 手指を介した感染伝播を防ぐため。
- C. 介護職単独の判断で医療行為の内容を変更できないため。
- D. 次回実施や多職種連携の根拠になるため。

## 答え・解説

正答：D. 次回実施や多職種連携の根拠になるため。

超簡単な解説：記録の重要性を重視する理由は、次回実施や多職種連携の根拠になるため。

## Q012 倫理 | 4択 | 応用

## 問題

Fさんは利用者・家族への説明に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- B. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- C. 本人の訴えを受け止め、実施前に本人の体調と同意を確認し、落ち着いた声で説明する。
- D. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。

## 答え・解説

正答：C. 本人の訴えを受け止め、実施前に本人の体調と同意を確認し、落ち着いた声で説明する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、利用者・家族への説明の観点から本人中心に対応する。

## Q013 経管栄養 | 4択 | 標準

## 問題

安全な姿勢の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- B. 姿勢に不安がある場合は自己判断せず看護職に確認する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

## 答え・解説

正答：A. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

超簡単な解説：安全な姿勢では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

## Q014 安全 | 4択 | 標準

## 問題

物品管理に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- B. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

## 答え・解説

正答：D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

## Q015 基礎 | 4択 | 応用

## 問題

医療的ケアを支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- B. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- C. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- D. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。

## 答え・解説

正答：A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q016 喀痰吸引 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、喀痰吸引の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 医療的ケア時に誤嚥や苦痛を防ぐため、体位を整えること。
- B. 手洗いや手指消毒により病原体の伝播を防ぐ基本的対策。
- C. 手袋、マスク、エプロン、ゴーグルなど、感染リスクから身を守る物品。
- D. 気道内の痰などを吸引し、呼吸を楽にするための医療的ケア。

答え・解説

正答：D. 気道内の痰などを吸引し、呼吸を楽にするための医療的ケア。

超簡単な解説：喀痰吸引は、気道内の痰などを吸引し、呼吸を楽にするための医療的ケア。

Q017 経管栄養 | 4択 | 標準

問題

家族と同居する利用者で、経管栄養を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 実施前に体調、姿勢、チューブの状態を確認し、異常時は報告する。
- B. 実施前に本人の体調と同意を確認し、落ち着いた声で説明する。
- C. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- D. 医療的ケアの前後、手袋を外した後に手指衛生を行う。

答え・解説

正答：A. 実施前に体調、姿勢、チューブの状態を確認し、異常時は報告する。

超簡単な解説：経管栄養では、実施前に体調、姿勢、チューブの状態を確認し、異常時は報告する。この対応が適切である。

Q018 制度 | 4択 | 標準

問題

介護実践で医師の指示を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 介護職単独の判断で医療行為の内容を変更できないため。
- B. 本人が不安を訴えても、支援計画を変更してはならないため。
- C. 介護者の作業時間を短縮することが、常に最優先になるため。
- D. 医療的ケアでは急変に備えた手順が必要だから。

答え・解説

正答：A. 介護職単独の判断で医療行為の内容を変更できないため。

超簡単な解説：医師の指示を重視する理由は、介護職単独の判断で医療行為の内容を変更できないため。

Q019 連携 | 4択 | 応用

問題

Aさんは看護職との連携に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- B. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- C. 本人の訴えを受け止め、痰の性状や呼吸状態の変化を具体的に看護職へ報告する。
- D. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。

答え・解説

正答：C. 本人の訴えを受け止め、痰の性状や呼吸状態の変化を具体的に看護職へ報告する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、看護職との連携の観点から本人中心に対応する。

Q020 感染予防 | 4択 | 標準

問題

標準予防策の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- C. 手指衛生と必要な個人防護具を、状況に応じて使用する。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：B. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：標準予防策では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q021 感染予防 | 4択 | 標準

問題

手指衛生に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- B. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- C. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

答え・解説

正答：D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q022 感染予防 | 4択 | 基礎

問題

個人防護具に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- B. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- C. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。
- D. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。

答え・解説

正答：A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q023 安全 | 4択 | 応用

問題

観察項目を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- B. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- C. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- D. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。

答え・解説

正答：A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q024 安全 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、緊急時対応の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 異常を認めた際に中止、応援要請、報告、救急対応などを行うこと。
- B. 医療的ケアの実施前後や異常時に、看護職と情報共有し安全を確保すること。
- C. 口から十分に食べられない人に、管を通じて栄養を補給する医療的ケア。
- D. 医療的ケア時に誤嚥や苦痛を防ぐため、体位を整えること。

答え・解説

正答：A. 異常を認めた際に中止、応援要請、報告、救急対応などを行うこと。

超簡単な解説：緊急時対応は、異常を認めた際に中止、応援要請、報告、救急対応などを行うこと。

Q025 安全 | 4択 | 標準

問題

認知機能に不安がある利用者で、記録の重要性を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 医師の指示、研修修了、登録事業者の体制などを確認して実施する。
- B. 実施時刻、状態、反応、報告先を客観的に記録する。
- C. 指示内容と実施範囲を確認し、自己判断で変更しない。
- D. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

答え・解説

正答：B. 実施時刻、状態、反応、報告先を客観的に記録する。

超簡単な解説：記録の重要性では、実施時刻、状態、反応、報告先を客観的に記録する。この対応が適切である。

Q026 倫理 | 4択 | 標準

問題

介護実践で利用者・家族への説明を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 手指を介した感染伝播を防ぐため。
- B. 不適切な物品使用は感染や事故につながるため。
- C. 呼吸に関わるため、状態変化への迅速な対応が必要だから。
- D. 不安や拒否を減らし、尊厳を守るため。

答え・解説

正答：D. 不安や拒否を減らし、尊厳を守るため。

超簡単な解説：利用者・家族への説明を重視する理由は、不安や拒否を減らし、尊厳を守るため。

Q027 経管栄養 | 4択 | 応用

問題

Cさんは安全な姿勢に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- B. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- C. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- D. 本人の訴えを受け止め、姿勢に不安がある場合は自己判断せず看護職に確認する。

答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、姿勢に不安がある場合は自己判断せず看護職に確認する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、安全な姿勢の観点から本人中心に対応する。

Q028 安全 | 4択 | 標準

問題

物品管理の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- D. 物品の汚染や破損を見つけた場合は使用せず報告する。

答え・解説

正答：C. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：物品管理では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q029 基礎 | 4択 | 基礎

問題

医療的ケアに関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- B. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- C. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。
- D. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。

答え・解説

正答：A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q030 喀痰吸引 | 4択 | 応用

問題

喀痰吸引を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- B. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- D. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。

答え・解説

正答：C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q031 経管栄養 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、経管栄養の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 気道内の痰などを吸引し、呼吸を楽にするための医療的ケア。
- B. 医療的ケアを安全に実施するための医学的判断に基づく指示。
- C. 実施内容、観察結果、異常の有無、対応を残し継続的な安全管理に用いること。
- D. 口から十分に食べられない人に、管を通じて栄養を補給する医療的ケア。

答え・解説

正答：D. 口から十分に食べられない人に、管を通じて栄養を補給する医療的ケア。

超簡単な解説：経管栄養は、口から十分に食べられない人に、管を通じて栄養を補給する医療的ケア。

Q032 制度 | 4択 | 標準

問題

家族と同居する利用者で、医師の指示を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- B. 指示内容と実施範囲を確認し、自己判断で変更しない。
- C. 実施時刻、状態、反応、報告先を客観的に記録する。
- D. 呼吸苦や顔色不良があれば実施を続けず、すぐ応援を呼ぶ。

答え・解説

正答：B. 指示内容と実施範囲を確認し、自己判断で変更しない。

超簡単な解説：医師の指示では、指示内容と実施範囲を確認し、自己判断で変更しない。この対応が適切である。

Q033 連携 | 4択 | 標準

問題

介護実践で看護職との連携を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 誤注入や体調悪化を防ぐため確認が不可欠だから。
- B. 医療的判断や緊急対応には連携が不可欠だから。
- C. 安全に実施するには制度上の要件と医療職との連携が必要だから。
- D. 介護職単独の判断で医療行為の内容を変更できないため。

答え・解説

正答：B. 医療的判断や緊急対応には連携が不可欠だから。

超簡単な解説：看護職との連携を重視する理由は、医療的判断や緊急対応には連携が不可欠だから。

Q034 感染予防 | 4択 | 応用

問題

Dさんは標準予防策に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 本人の訴えを受け止め、手指衛生と必要な個人防護具を、状況に応じて使用する。
- D. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。

答え・解説

正答：C. 本人の訴えを受け止め、手指衛生と必要な個人防護具を、状況に応じて使用する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、標準予防策の観点から本人中心に対応する。

Q035 感染予防 | 4択 | 標準

問題

手指衛生の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 医療的ケアの前後、手袋を外した後に手指衛生を行う。

答え・解説

正答：B. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：手指衛生では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

## Q036 感染予防 | 4択 | 標準

## 問題

個人防護具に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- B. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- D. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。

## 答え・解説

正答：C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

## Q037 安全 | 4択 | 基礎

## 問題

観察項目に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- C. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- D. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。

## 答え・解説

正答：B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

## Q038 安全 | 4択 | 応用

## 問題

緊急時対応を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- B. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- D. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。

## 答え・解説

正答：C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

## Q039 安全 | 4択 | 基礎

## 問題

次のうち、記録の重要性の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 異常を認めた際に中止、応援要請、報告、救急対応などを行うこと。
- B. 医療的ケアの目的や方法を分かりやすく説明し、不安を軽減すること。
- C. 実施内容、観察結果、異常の有無、対応を残し継続的な安全管理に用いること。
- D. 医療的ケア時に誤嚥や苦痛を防ぐため、体位を整えること。

## 答え・解説

正答：C. 実施内容、観察結果、異常の有無、対応を残し継続的な安全管理に用いること。

超簡単な解説：記録の重要性は、実施内容、観察結果、異常の有無、対応を残し継続的な安全管理に用いること。

## Q040 倫理 | 4択 | 標準

## 問題

在宅で生活する利用者で、利用者・家族への説明を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 呼吸苦や顔色不良があれば実施を続けず、すぐ応援を呼ぶ。
- B. 実施前に本人の体調と同意を確認し、落ち着いた声で説明する。
- C. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- D. 痰の性状や呼吸状態の変化を具体的に看護職へ報告する。

## 答え・解説

正答：B. 実施前に本人の体調と同意を確認し、落ち着いた声で説明する。

超簡単な解説：利用者・家族への説明では、実施前に本人の体調と同意を確認し、落ち着いた声で説明する。この対応が適切である。

## Q041 経管栄養 | 4択 | 標準

## 問題

介護実践で安全な姿勢を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 手指を介した感染伝播を防ぐため。
- B. 利用者と実施者双方を感染から守るため。
- C. 誤注入や体調悪化を防ぐため確認が不可欠だから。
- D. 姿勢は呼吸や嚥下、注入時の安全に関わるため。

## 答え・解説

正答：D. 姿勢は呼吸や嚥下、注入時の安全に関わるため。

超簡単な解説：安全な姿勢を重視する理由は、姿勢は呼吸や嚥下、注入時の安全に関わるため。

## Q042 安全 | 4択 | 応用

## 問題

Fさんは物品管理に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- B. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- C. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- D. 本人の訴えを受け止め、物品の汚染や破損を見つけた場合は使用せず報告する。

## 答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、物品の汚染や破損を見つけた場合は使用せず報告する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、物品管理の観点から本人中心に対応する。

## Q043 基礎 | 4択 | 標準

## 問題

医療的ケアに関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。

## 答え・解説

正答：B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

## Q044 喀痰吸引 | 4択 | 基礎

## 問題

喀痰吸引に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- B. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- C. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

## 答え・解説

正答：D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

## Q045 経管栄養 | 4択 | 応用

## 問題

経管栄養を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- B. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- C. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- D. 計画は職員の作業負担だけを書き、本人の目標は含めない。

## 答え・解説

正答：A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

## Q046 制度 | 4択 | 基礎

## 問題

次のうち、医師の指示の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 異常を認めた際に中止、応援要請、報告、救急対応などを行うこと。
- B. 医療的ケアを安全に実施するための医学的判断に基づく指示。
- C. 介護福祉士等が一定の条件のもとで行う喀痰吸引や経管栄養などの行為。
- D. 口から十分に食べられない人に、管を通じて栄養を補給する医療的ケア。

## 答え・解説

正答：B. 医療的ケアを安全に実施するための医学的判断に基づく指示。

超簡単な解説：医師の指示は、医療的ケアを安全に実施するための医学的判断に基づく指示。

## Q047 連携 | 4択 | 標準

## 問題

一人暮らしの利用者で、看護職との連携を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 実施前に本人の体調と同意を確認し、落ち着いた声で説明する。
- B. 実施時刻、状態、反応、報告先を客観的に記録する。
- C. 痰の性状や呼吸状態の変化を具体的に看護職へ報告する。
- D. 手指衛生と必要な個人防護具を、状況に応じて使用する。

## 答え・解説

正答：C. 痰の性状や呼吸状態の変化を具体的に看護職へ報告する。

超簡単な解説：看護職との連携では、痰の性状や呼吸状態の変化を具体的に看護職へ報告する。この対応が適切である。

## Q048 感染予防 | 4択 | 標準

## 問題

介護実践で標準予防策を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 不安や拒否を減らし、尊厳を守るため。
- B. 感染の有無が不明でも拡大を防ぐ基本だから。
- C. 異常の早期発見が事故予防につながるため。
- D. 医療的判断や緊急対応には連携が不可欠だから。

## 答え・解説

正答：B. 感染の有無が不明でも拡大を防ぐ基本だから。

超簡単な解説：標準予防策を重視する理由は、感染の有無が不明でも拡大を防ぐ基本だから。

## Q049 感染予防 | 4択 | 応用

## 問題

Aさんは手指衛生に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- B. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- C. 本人の訴えを受け止め、医療的ケアの前後、手袋を外した後に手指衛生を行う。
- D. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。

## 答え・解説

正答：C. 本人の訴えを受け止め、医療的ケアの前後、手袋を外した後に手指衛生を行う。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、手指衛生の観点から本人中心に対応する。

## Q050 感染予防 | 4択 | 標準

## 問題

個人防護具の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- B. 飛沫や分泌物に触れる可能性に応じて適切に使用する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

## 答え・解説

正答：A. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：個人防護具では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

## Q051 安全 | 4択 | 標準

## 問題

観察項目に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- B. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。

## 答え・解説

正答：A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

## Q052 安全 | 4択 | 基礎

## 問題

緊急時対応に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- B. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- C. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- D. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけが続ける。

## 答え・解説

正答：A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

## Q053 安全 | 4択 | 応用

## 問題

記録の重要性を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 計画は職員の作業負担だけを書き、本人の目標は含めない。
- B. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- D. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。

## 答え・解説

正答：C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

## Q054 倫理 | 4択 | 基礎

## 問題

次のうち、利用者・家族への説明の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 医療的ケア時に誤嚥や苦痛を防ぐため、体位を整えること。
- B. 手袋、マスク、エプロン、ゴーグルなど、感染リスクから身を守る物品。
- C. 医療的ケアの目的や方法を分かりやすく説明し、不安を軽減すること。
- D. 口から十分に食べられない人に、管を通じて栄養を補給する医療的ケア。

## 答え・解説

正答：C. 医療的ケアの目的や方法を分かりやすく説明し、不安を軽減すること。

超簡単な解説：利用者・家族への説明は、医療的ケアの目的や方法を分かりやすく説明し、不安を軽減すること。

## Q055 経管栄養 | 4択 | 標準

## 問題

退院後の生活を再開した利用者で、安全な姿勢を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- B. 実施前後の呼吸状態や顔色を観察し、異常時は中止して報告する。
- C. 姿勢に不安がある場合は自己判断せず看護職に確認する。
- D. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

## 答え・解説

正答：C. 姿勢に不安がある場合は自己判断せず看護職に確認する。

超簡単な解説：安全な姿勢では、姿勢に不安がある場合は自己判断せず看護職に確認する。この対応が適切である。

## Q056 安全 | 4択 | 標準

## 問題

介護実践で物品管理を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人のできる力より、すべて介助することが自立支援になるため。
- B. 誤注入や体調悪化を防ぐため確認が不可欠だから。
- C. 不適切な物品使用は感染や事故につながるため。
- D. 異常の早期発見が事故予防につながるため。

## 答え・解説

正答：C. 不適切な物品使用は感染や事故につながるため。

超簡単な解説：物品管理を重視する理由は、不適切な物品使用は感染や事故につながるため。

## Q057 基礎 | 4択 | 標準

## 問題

医療的ケアの観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 医師の指示、研修修了、登録事業者の体制などを確認して実施する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

## 答え・解説

正答：A. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：医療的ケアでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

## Q058 喀痰吸引 | 4択 | 標準

## 問題

喀痰吸引に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。

## 答え・解説

正答：B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

## Q059 経管栄養 | 4択 | 基礎

## 問題

経管栄養に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- B. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- D. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。

## 答え・解説

正答：C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

## Q060 制度 | 4択 | 応用

## 問題

医師の指示を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 計画は職員の作業負担だけを書き、本人の目標は含めない。
- B. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- C. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

## 答え・解説

正答：D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q061 連携 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、看護職との連携の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 口から十分に食べられない人に、管を通じて栄養を補給する医療的ケア。
- B. 医療的ケアの実施前後や異常時に、看護職と情報共有し安全を確保すること。
- C. 異常を認めた際に中止、応援要請、報告、救急対応などを行うこと。
- D. 清潔・不潔の区別、使用期限、破損、保管状態を確認すること。

答え・解説

正答：B. 医療的ケアの実施前後や異常時に、看護職と情報共有し安全を確保すること。

超簡単な解説：看護職との連携は、医療的ケアの実施前後や異常時に、看護職と情報共有し安全を確保すること。

Q062 感染予防 | 4択 | 標準

問題

通所介護を利用する高齢者で、標準予防策を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- B. 手指衛生と必要な個人防護具を、状況に応じて使用する。
- C. 実施前に本人の体調と同意を確認し、落ち着いた声で説明する。
- D. 物品の汚染や破損を見つけた場合は使用せず報告する。

答え・解説

正答：B. 手指衛生と必要な個人防護具を、状況に応じて使用する。

超簡単な解説：標準予防策では、手指衛生と必要な個人防護具を、状況に応じて使用する。この対応が適切である。

Q063 感染予防 | 4択 | 標準

問題

介護実践で手指衛生を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 家族の希望は常に本人の意思より優先されるため。
- B. 呼吸に関わるため、状態変化への迅速な対応が必要だから。
- C. 手指を介した感染伝播を防ぐため。
- D. 次回実施や多職種連携の根拠になるため。

答え・解説

正答：C. 手指を介した感染伝播を防ぐため。

超簡単な解説：手指衛生を重視する理由は、手指を介した感染伝播を防ぐため。

Q064 感染予防 | 4択 | 応用

問題

Dさんは個人防護具に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- D. 本人の訴えを受け止め、飛沫や分泌物に触れる可能性に応じて適切に使用する。

答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、飛沫や分泌物に触れる可能性に応じて適切に使用する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、個人防護具の観点から本人中心に対応する。

Q065 安全 | 4択 | 標準

問題

観察項目の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 『いつもと違う』変化を具体的な事実として記録・報告する。
- D. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

答え・解説

正答：D. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：観察項目では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

## Q066 安全 | 4択 | 標準

## 問題

緊急時対応に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- B. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- C. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

## 答え・解説

正答：D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

## Q067 安全 | 4択 | 基礎

## 問題

記録の重要性に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- B. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。
- C. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- D. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。

## 答え・解説

正答：A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

## Q068 倫理 | 4択 | 応用

## 問題

利用者・家族への説明を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 計画は職員の作業負担だけを書き、本人の目標は含めない。
- B. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- C. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

## 答え・解説

正答：D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

## Q069 経管栄養 | 4択 | 基礎

## 問題

次のうち、安全な姿勢の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 実施内容、観察結果、異常の有無、対応を残し継続的な安全管理に用いること。
- B. 医療的ケア時に誤嚥や苦痛を防ぐため、体位を整えること。
- C. 手袋、マスク、エプロン、ゴーグルなど、感染リスクから身を守る物品。
- D. 異常を認めた際に中止、応援要請、報告、救急対応などを行うこと。

## 答え・解説

正答：B. 医療的ケア時に誤嚥や苦痛を防ぐため、体位を整えること。

超簡単な解説：安全な姿勢は、医療的ケア時に誤嚥や苦痛を防ぐため、体位を整えること。

## Q070 安全 | 4択 | 標準

## 問題

在宅で生活する利用者で、物品管理を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 医師の指示、研修修了、登録事業者の体制などを確認して実施する。
- B. 指示内容と実施範囲を確認し、自己判断で変更しない。
- C. 物品の汚染や破損を見つけた場合は使用せず報告する。
- D. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

## 答え・解説

正答：C. 物品の汚染や破損を見つけた場合は使用せず報告する。

超簡単な解説：物品管理では、物品の汚染や破損を見つけた場合は使用せず報告する。この対応が適切である。

## Q071 基礎 | 4択 | 応用

## 問題

Eさんは医療的ケアに関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- B. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- C. 本人の訴えを受け止め、医師の指示、研修修了、登録事業者の体制などを確認して実施する。
- D. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。

## 答え・解説

正答：C. 本人の訴えを受け止め、医師の指示、研修修了、登録事業者の体制などを確認して実施する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、医療的ケアの観点から本人中心に対応する。

## Q072 喀痰吸引 | 4択 | 標準

## 問題

喀痰吸引の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- D. 実施前後の呼吸状態や顔色を観察し、異常時は中止して報告する。

## 答え・解説

正答：C. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：喀痰吸引では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

## Q073 経管栄養 | 4択 | 標準

## 問題

経管栄養に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- B. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- C. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

## 答え・解説

正答：D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

## Q074 制度 | 4択 | 基礎

## 問題

医師の指示に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- B. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- C. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- D. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。

## 答え・解説

正答：A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

## Q075 連携 | 4択 | 応用

## 問題

看護職との連携を支援計画に反映する際の方として、最も適切なものはどれか。

- A. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- C. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- D. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。

## 答え・解説

正答：B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

## Q076 感染予防 | 4択 | 基礎

## 問題

次のうち、標準予防策の説明として最も適切なものはどれか。

- A. すべての血液・体液・分泌物などを感染の可能性があるものとして扱う考え方。
- B. 気道内の痰などを吸引し、呼吸を楽にするための医療的ケア。
- C. 医療的ケアの実施前後や異常時に、看護職と情報共有し安全を確保すること。
- D. 医療的ケア時に確認する呼吸、顔色、意識、苦痛、チューブ状態などの情報。

## 答え・解説

正答：A. すべての血液・体液・分泌物などを感染の可能性があるものとして扱う考え方。

超簡単な解説：標準予防策は、すべての血液・体液・分泌物などを感染の可能性があるものとして扱う考え方。

## Q077 感染予防 | 4択 | 標準

## 問題

施設入所中の利用者で、手指衛生を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- B. 医療的ケアの前後、手袋を外した後に手指衛生を行う。
- C. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- D. 手指衛生と必要な個人防護具を、状況に応じて使用する。

## 答え・解説

正答：B. 医療的ケアの前後、手袋を外した後に手指衛生を行う。

超簡単な解説：手指衛生では、医療的ケアの前後、手袋を外した後に手指衛生を行う。この対応が適切である。

## Q078 感染予防 | 4択 | 標準

## 問題

介護実践で個人防護具を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 利用者と実施者双方を感染から守るため。
- B. 医療的ケアでは急変に備えた手順が必要だから。
- C. 次回実施や多職種連携の根拠になるため。
- D. 手指を介した感染伝播を防ぐため。

## 答え・解説

正答：A. 利用者と実施者双方を感染から守るため。

超簡単な解説：個人防護具を重視する理由は、利用者と実施者双方を感染から守るため。

## Q079 安全 | 4択 | 応用

## 問題

Aさんは観察項目に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- D. 本人の訴えを受け止め、『いつもと違う』変化を具体的な事実として記録・報告する。

## 答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、『いつもと違う』変化を具体的な事実として記録・報告する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、観察項目の観点から本人中心に対応する。

## Q080 安全 | 4択 | 標準

## 問題

緊急時対応の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 呼吸苦や顔色不良があれば実施を続けず、すぐ応援を呼ぶ。

## 答え・解説

正答：A. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：緊急時対応では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

## Q081 安全 | 4択 | 標準

## 問題

記録の重要性に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- B. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- C. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

## 答え・解説

正答：D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

## Q082 倫理 | 4択 | 基礎

## 問題

利用者・家族への説明に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- C. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- D. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。

## 答え・解説

正答：B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

## Q083 経管栄養 | 4択 | 応用

## 問題

安全な姿勢を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- C. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- D. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。

## 答え・解説

正答：B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

## Q084 安全 | 4択 | 基礎

## 問題

次のうち、物品管理の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 手洗いや手指消毒により病原体の伝播を防ぐ基本的対策。
- B. 手袋、マスク、エプロン、ゴーグルなど、感染リスクから身を守る物品。
- C. 医療的ケアの実施前後や異常時に、看護職と情報共有し安全を確保すること。
- D. 清潔・不潔の区別、使用期限、破損、保管状態を確認すること。

## 答え・解説

正答：D. 清潔・不潔の区別、使用期限、破損、保管状態を確認すること。

超簡単な解説：物品管理は、清潔・不潔の区別、使用期限、破損、保管状態を確認すること。

## Q085 基礎 | 4択 | 標準

## 問題

介護実践で医療的ケアを重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 安全に実施するには制度上の要件と医療職との連携が必要だから。
- B. 医療的判断や緊急対応には連携が不可欠だから。
- C. 不適切な物品使用は感染や事故につながるため。
- D. 記録は事故が起きた場合だけ作成すればよいため。

## 答え・解説

正答：A. 安全に実施するには制度上の要件と医療職との連携が必要だから。

超簡単な解説：医療的ケアを重視する理由は、安全に実施するには制度上の要件と医療職との連携が必要だから。

Q086 喀痰吸引 | 4択 | 応用

問題

Bさんは喀痰吸引に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

A. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。  
B. 本人の訴えを受け止め、実施前後の呼吸状態や顔色を観察し、異常時は中止して報告する。  
C. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。  
D. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。

答え・解説

正答：B. 本人の訴えを受け止め、実施前後の呼吸状態や顔色を観察し、異常時は中止して報告する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、喀痰吸引の観点から本人中心に対応する。

Q087 経管栄養 | 4択 | 標準

問題

経管栄養の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

A. 実施前に体調、姿勢、チューブの状態を確認し、異常時は報告する。  
B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。  
C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。  
D. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

答え・解説

正答：D. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：経管栄養では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q088 制度 | 4択 | 標準

問題

医師の指示に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

A. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。  
B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。  
C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。  
D. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。

答え・解説

正答：B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q089 連携 | 4択 | 基礎

問題

看護職との連携に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。  
B. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。  
C. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。  
D. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。

答え・解説

正答：A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q090 感染予防 | 4択 | 応用

問題

標準予防策を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

A. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。  
B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。  
C. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。  
D. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。

答え・解説

正答：B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

## Q091 感染予防 | 4択 | 基礎

## 問題

次のうち、手指衛生の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 介護福祉士等が一定の条件のもとで行う喀痰吸引や経管栄養などの行為。
- B. 清潔・不潔の区別、使用期限、破損、保管状態を確認すること。
- C. 異常を認めた際に中止、応援要請、報告、救急対応などを行うこと。
- D. 手洗いや手指消毒により病原体の伝播を防ぐ基本的対策。

## 答え・解説

正答：D. 手洗いや手指消毒により病原体の伝播を防ぐ基本的対策。

超簡単な解説：手指衛生は、手洗いや手指消毒により病原体の伝播を防ぐ基本的対策。

## Q092 感染予防 | 4択 | 標準

## 問題

施設入所中の利用者で、個人防護具を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 物品の汚染や破損を見つけた場合は使用せず報告する。
- B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- C. 医療的ケアの前後、手袋を外した後に手指衛生を行う。
- D. 飛沫や分泌物に触れる可能性に応じて適切に使用する。

## 答え・解説

正答：D. 飛沫や分泌物に触れる可能性に応じて適切に使用する。

超簡単な解説：個人防護具では、飛沫や分泌物に触れる可能性に応じて適切に使用する。この対応が適切である。

## Q093 安全 | 4択 | 標準

## 問題

介護実践で観察項目を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 異常の早期発見が事故予防につながるため。
- B. 介護職単独の判断で医療行為の内容を変更できないため。
- C. 医療的判断や緊急対応には連携が不可欠だから。
- D. 医療的ケアでは急変に備えた手順が必要だから。

## 答え・解説

正答：A. 異常の早期発見が事故予防につながるため。

超簡単な解説：観察項目を重視する理由は、異常の早期発見が事故予防につながるため。

## Q094 安全 | 4択 | 応用

## 問題

Dさんは緊急時対応に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- B. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- C. 本人の訴えを受け止め、呼吸苦や顔色不良があれば実施を続けず、すぐ応援を呼ぶ。
- D. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。

## 答え・解説

正答：C. 本人の訴えを受け止め、呼吸苦や顔色不良があれば実施を続けず、すぐ応援を呼ぶ。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、緊急時対応の観点から本人中心に対応する。

## Q095 安全 | 4択 | 標準

## 問題

記録の重要性の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 実施時刻、状態、反応、報告先を客観的に記録する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

## 答え・解説

正答：D. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：記録の重要性では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

## Q096 倫理 | 4択 | 標準

## 問題

利用者・家族への説明に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- B. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

## 答え・解説

正答：D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

## Q097 経管栄養 | 4択 | 基礎

## 問題

安全な姿勢に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- B. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- C. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

## 答え・解説

正答：D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

## Q098 安全 | 4択 | 応用

## 問題

物品管理を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- B. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- C. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

## 答え・解説

正答：D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

## Q099 基礎 | 4択 | 標準

## 問題

身体機能が低下した利用者で、医療的ケアを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 医師の指示、研修修了、登録事業者の体制などを確認して実施する。
- B. 呼吸苦や顔色不良があれば実施を続けず、すぐ応援を呼ぶ。
- C. 実施時刻、状態、反応、報告先を客観的に記録する。
- D. 飛沫や分泌物に触れる可能性に応じて適切に使用する。

## 答え・解説

正答：A. 医師の指示、研修修了、登録事業者の体制などを確認して実施する。

超簡単な解説：医療的ケアでは、医師の指示、研修修了、登録事業者の体制などを確認して実施する。この対応が適切である。

## Q100 喀痰吸引 | 4択 | 標準

## 問題

介護実践で喀痰吸引を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 安全確認は医療職だけが行うため。
- B. 医療的判断や緊急対応には連携が不可欠だから。
- C. 呼吸に関わるため、状態変化への迅速な対応が必要だから。
- D. 利用者と実施者双方を感染から守るため。

## 答え・解説

正答：C. 呼吸に関わるため、状態変化への迅速な対応が必要だから。

超簡単な解説：喀痰吸引を重視する理由は、呼吸に関わるため、状態変化への迅速な対応が必要だから。